



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラン：メリ銀行に対する EU 独自制裁に関する反応 (7月2日付イラン・ニュース他)

現地英字紙は、欧州からの資産引き上げメリ銀行に対する EU 独自制裁に関するイラン側関係者による発言を報じている。概要以下の通り。

1. セドギ・メリ銀行社長発言 (2日付イラン・ニュース)

(1)メリ銀行は、欧州諸国から試算を引き上げてはいない。メリ銀行ロンドン支店は、銀行の基準に反する活動は一切行っていない。同支店は、英国に登録された企業であり、英国の基準に基づいて活動している。英国でのこれまでの活動期間中に、英当局から国際的基準及び銀行関連の基準に違反しているという指摘を受けたことなく、どのような理由で今回の制裁を課されたのか分からない。

(2)銀行の貸出金利に関する通知は行われておらず、現時点でも以前と同じ 12%で貸出が行われている。新たな貸出金利に関する通知は、今後、銀行に対して行われるであろう。メリ銀行のイラン中央銀行からの借入残高は、6月20日時点で22兆リアルである。

2. サファリ外務次官発言 (26日付イラン・デイリー他)

(1) (EUによる対イラン独自制裁によって)失うのは誰であろうか。それは欧州の人々である。仮に欧州の人々が(イランとの)ビジネスを停止したいのであれば問題ないだろう。イランには、世界中の人々がイランから輸入することを望んでいるガスと石油がある。

(2)我々には、イランの試算を(欧州から)引き上げつつあり、別の場所に投資するだろう。仮にイランが欧州の銀行から1千億ドルを引き上げた場合には、当然直ちに資金不足に陥り、世界経済に重大な影響を与えるだろう。